

息吹がより

No. 40

平成29年 新春号



息吹倶楽部

マルシェ

初開催

大盛況



2016年11月13日に名古屋市熱田区にある、息吹農法の野菜を使った料理を提供しているレストラン「白鳥物語」の店舗テラスにてマルシェを初開催させていただきました。初めてのことで心配ばかりでしたが、天候にも恵まれお蔭様で大盛況！午後の早い段階でほぼ完売となりました。

近くにお住いの方はもちろん、レストランに来たお客様まで、幅広い年齢の方にご購入いただきました。反響が大きく、2週間後の日曜日にも再び開催。なんとリピートのお客様も来ていただき、この日は天候には恵まれなかったものの商品が足りない事態になりました。

今後も息吹倶楽部マルシェは「白鳥物語」テラスで定期開催します。またそのマルシェを見に来ていただいた同業者の方からもお声がかかり、今年は各地で開催予定です。ぜひお近くにお住いの皆様は一度ご来店ください。



息吹倶楽部とは...

大名ジャパンの本庄社長を中心とした、息吹農法で作った農作物の直接販売、また料理店への提供を手がける倶楽部です。美味しい息吹の農作物を多くの方に知っていただきたく、現在ホームページを作成中です。2月頃よりオンラインショップでご購入いただける予定です。



息吹農法はココが違う!



お店で見ると同じような大きさのキャベツですが、畑では根の張りが全く違うのがわかります。手に取ってみるとその重量感の違いに気が付くでしょう。そして実際に切ってみると中身がぎっしり詰まっていることがわかります。また左右対称、キレイに出来上がっていることも特徴です。

息吹倶楽部 新店舗も続々登場

SLOW FOOD RESTAURANT 白鳥物語
http://shiratorimonogatari.jp

ショットバー 宙 (そら)
http://bar-navi.suntory.co.jp/shop/0783920266/

炭火串焼きとワインのお店
『obiobi』 http://obiobi.jp/



「大規模経営」にはかかせない

石川 喜久雄様 (愛知県)

使用方法 水稲、大豆、麦で100ヘクタール以上を経営しており、全てに息吹LDを使用。水稲は、フレコンから培土10kg、息吹1kgをタライに入れて混合、その日の播種枚数に応じて袋に分けて準備します。薬剤散布機を利用し、播種と同時に苗箱に落として使用しています。また大豆、麦にはコーティングにて使用しています。

実感していること 息吹は育苗の時点で違いがハッキリ分かります。比較的異常気象にも強く、また大面積を効率よく管理できることが良いです。

ひとつこと 大豆ではサヤの付き方で納得、違いの分かりにくい麦でもハッキリと体感しています。気が付いたら息吹との付き合いは10年以上になりました。



大規模でも「手間なし」混合

やまねファーム様 (滋賀県)

使用方法 水稲、大豆で息吹LDを使用。水稲は培土メーカーに依頼し、息吹を混合するので手間いらず。大豆はコーティングして使用。

実感していること 収量が向上するのはもちろんですが、刈遅れ気味の圃場でも、実際に収穫してみると、ツヤもあり品質が良いので適期が伸びた感覚になります。また水はけが大きく改善され、大型機械でもスムーズに入ることができます。この土の変化は作業員も感じていて、実際の作業効率も大幅に向上しました。

ひとつこと 大規模で土壌改良するには息吹しかないのでは？すでに10年以上使っています。



代理店主導によるお客様との「共同作業」

原田商会様 (愛知県)

使用方法 お店で各個人、タライの中に種粉と息吹LDを混合します。それをお店の播種機を共同で使い、ホッパーに入れて落として使用します。

実感していること 根張りの良さが良くわかるので息吹を使い続けています。2016年は雨が多く、出来を心配していましたが前年に比べ1俵半も多く取れました。大粒でくず米も少なかったのは不安定な気候にも強い息吹のおかげです。

ひとつこと 息吹を使っているお客様が白菜の品評会で銀賞を受賞し新聞に掲載されました。長雨、日照不足で多くの葉物農家が生育不良で悩まされている中で、根腐れもなく大変良い結果になりました。



使えるところ
「全て」に使用

安形様 (愛知県)

使用方法 播種後、育苗箱を並べ、上から茶こしを使用して2人で散布しています。

実感していること 田んぼの土質が変わり、均一化されたようで代掻きがきれいに仕上がりが楽になりました。水稲はもちろんですが、野菜、桃、花などすべてに使用しています。野菜畑ではフカフカに変わり、土の色まで変わってきます。お米は冷めても美味しく、噛むほど甘くなると評判です。



「直売」で勝つ！

日栄 誠一様 (愛知県)

使用方法 みのるのポット育苗です。1か月前から培土の準備を始めますが、土の湿度を一定にするため、シートの上に土を広げます。その際に息吹を混合します。また常識とは違うのですが、ビニールハウスではなく畑でトンネル育苗をします。この方法で30年、失敗は一度もありません。他の野菜にはLDミネラルを使用しています。ウネをならず前に手で振っています。

実感していること 息吹

を使うととにかく良く育つ。根張りが良くなり、肥料をよく吸い上げるのです。かぼちゃで実験した際には、息吹を使用していないものよりも1か月ほど成長が早かった。その為、出荷時期に合わせてタイミングよく撒くことが重要になります。成長を計算し、ゴボウなどは他の生産者よりも一足先に出荷しています。

ひとこと ほとんどが直売ですから、食味、鮮度、見栄えが重要です。これらすべてを満たす息吹は手放せません。三つ子の魂百まで、という言葉がありますが農作物にも同じことが言えます。つまり苗の時に手を抜かずに大切に世話をしてあげることです。



「連続入賞！」日本トップクラスの味の伝承者

主穂宮 農様 (岐阜県)

使用方法 みのるのポット苗を使用しています。みのる純正培土に息吹LDを混合して使用します。約2反分の覆土(40kg)に息吹LDを660g、攪拌機を使用して混合していますよ。

実感していること 毎年自家種(旧ハツシモ)に使用しています。種籾の生命力が増えている感覚で、毎年大きくなっています。

ひとこと 2015年度、初めて出品したお米コンテストで2つの賞を受賞。2016年度はスシ米コンテストで特Aランクの評価。全国トップクラスの生産者達と交流し、切磋琢磨しています。2017年度もトップランク目指します。



「新規就農」、将来有望なこだわりの若手農家

奥村 康平様 (岐阜県)

使用方法 農協から苗を購入し、緑化苗に使用しています。苗箱に茶こしを使用し上から振りかけています。

実感していること 生育の過程で息吹の効果が分かりました。息吹を入れていない方と比べると根の張り方や実の付き方が良かったです。収穫時期の天候が不安定で稲刈り時期を早めたり、雨が多く天日干しでの乾燥が上手くいかず、今年は納得いくものではありませんでした。息吹は生き物を元気にする力があると思いますので、他の条件とうまく融合させ、より良い効果を発揮させるために今後も研究していきます。

ひとこと 除草剤やカメムシ防除剤などを使わず、自然にも健康にも良いお米作りを目指しています。最近では見かけなくなったハサカケですが、昔ながらの風景を後世に残したい気持ちがあり続けています。手間はかかりますがお米作りは楽しく、やりがいを感じています。



「工夫」 x 「発明」 x 息吹

篠原 農産様 (岐阜県)

使用方法 水稻には種籾にコーティングして使用します。他には柿やタマネギ、ブロッコリーなども作っていますが、完熟ぼかしを作る際に息吹を混合しています。ドラム缶1杯のぼかしに息吹を約200gの割合で入れます。

実感していること 息吹を使用すると、とにかく食味が向上します。直売所があるので味は重要です。見た目も味もよく、注文も増えています。柿はもちろん、タマネギやブロッコリーも甘みが違うと評判で、買いに来てくださるお客様とお話することがいつも楽しみです。

ひとこと 自分で設計したオリジナルの乾燥所、そのおかげで以前より作業効率が1.5倍以上上がりました。ぼかし肥料は運ぶ手間を考え、自分でコンテナを作成し、フォークリフトで運びやすくするなど、いろいろと工夫しています。

東京神田青果市場株式会社
常務取締役
菅井 政志 様



対談

汎陽科学株式会社
代表取締役
井上 健太郎



東京の大田市場に会社を置く東京神田青果市場株式会社。岐阜にある土壌改良剤メーカーである汎陽科学は昔からの付き合いがあります。市場内には「息吹農法」の大きな旗を飾っていただき、目立つようにPRしていただいています。今回、常務取締役の菅井様に岐阜のお客様をご紹介するとともに、今後の農業情勢、そして息吹農法の未来について弊社代表と対談形式で語っていただきます。

井上: 遠いところご足労いただき、誠にありがとうございます。東京神田青果市場株式会社様には長い間、息吹農法の作物をお取り扱いいただいております。現在の流通状況を教えてください。



菅井: 弊社では現在、野菜よりも果樹類で多くの息吹農法農産物を扱っています。その中で山形のスイカ、サクランボなど段ボールに「息吹農法」と印されたものが多く流通しています。

井上: 弊社会議室にも各地の「息吹農法」と入った段ボールが展示してありますが、仲買さんへのPRという点ではいかがでしょうか？

菅井: 実は息吹農法の農産物はほぼ決まった仲卸さんがいつも買ってくれます。とても成績が良く、なによりもクレームがゼロです。息吹農法のマークがあることで目印になり、そして差別化になっています。

井上: 息吹農法の市場での評価は「優秀」と考えて良いのでしょうか？

菅井: 具体的なお話をするとサクランボ。常に照りが良く、形はもちろん、そして一番大事な「味」が抜群です。常にリピートがある、ということが評価の証ではないでしょうか

井上: 大変な高評価をいただきありがとうございます。より市場での価値を高めるためには農家さんにどのような点を求めていますか？

菅井: 現在、特に果樹類に関して言えば生産量は年々減少しています。しかし単価は上昇しています。これは昔と違い、「量は要らないが、美味しいものを食べたい」という事実です。言い換えれば、良いものは高くても認められ、悪いものは安くても認められない、売れない、ということです。市場で生産者に求めているものは、良い商品、そして美味しさと鮮度が両立する作物です。息吹はその一番美味しい、美味しさと鮮度を両立させることができる資材ですよね。

井上: 時代は変わり、量より質、また今では糖質制限が流行ったりと常に変化しています。農業の世界では例えばイオンさんやカゴメさ

んが自社農場を拡大するなど企業の参入が増えています。その辺りは市場の立場からどのように考えられていますか？

菅井: 現実問題として農業は後継者問題があります。これは簡単には解決しないでしょう。しかしまた現実として1軒あたりの農業経営規模が巨大化していることもあります。その大型化の一つのグループとして企業があると思います。市場は活性化することを大歓迎です。活性化といえば、社内でも現在女性の起用があります。弊社でも女性の営業がとても活躍しています。農家さんでもそのようなことが起こると面白いですね。

井上: 豊洲移転問題やTPPなど政治的問題や、天候のリスク等、農業には立ち向かう相手が多いですが、最後に息吹をご利用いただいている農家さんへ一言いただけませんか。



菅井: 息吹農法の作物は市場ですすでに一定の評価を得ています。これからは差別化の時代です。息吹を使って良い商品を作る、それが大事です。弊社ではロットが集まるものはもちろんですが、良いものであれば1箱でもお取り扱いさせていただきます。息吹をご使用の農家さんは北は北海道、南は沖縄までと聞いています。輸送コストの問題もありますし、スポットで見れば他市場の方が高いこともあるかもしれませんが、しかし一般的には継続して出荷いただければ東京の市場が一番高い。息吹農法の作物は仲卸さんも探しています。東京進出の腕試しとしてご連絡いただければご対応させていただきます。



「息吹を使い続けると簡単に90cmも棒が刺さるよ」と佐竹様

お問い合わせ先は… 東京神田青果市場株式会社
常務取締役 菅井 政志 様 まで
☎ 03-5492-5001

「息吹便りを見て、農産物の出荷についてのお問合せ」と伝えてください

